

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

インフラマネジメントシンポジウム2020を開催します

老朽化するインフラが急増する中、限られた予算で対応するためには、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う必要があります。施設管理者である地方自治体が抱える課題（厳しい財政・人材の不足・技術不足）について、産（民間企業）、学（大学）、官（国等）から課題解決のヒントとなる取り組み等を紹介し、効率的・効果的なメンテナンスのあり方について考えます。

■開催日時：令和3年2月26日（金） 13:30～16:30（予定）

■配信場所：中国地方整備局（広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎2号館8階）
zoomによるライブ配信を行います。※事前の予約が必要です

■内 容：基調講演
「橋梁点検・調査・維持管理の高度化・効率化に向けた技術開発」
有井 賢次 氏（株式会社長大）（リモート出演）

パネルディスカッション

「地方自治体におけるこれからのインフラメンテナンス」

コーディネーター：藤井 堅 氏（インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
フォーラムリーダー [広島大学名誉教授]）

パネリスト：黒田 保 氏（鳥取大学大学院工学研究科 教授）（リモート出演）
星隈 順一 氏（国土交通省中国地方整備局 企画部長）
北岡 宏紹 氏（呉市役所 土木部長）
菊地 英幸 氏（富士通株式会社社会システム事業本部 シニアマネージャー）（リモート出演）
秋田 英次 氏（山陽ロード工業株式会社 代表取締役社長）

■主 催：インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」／中国地方整備局

■共 催：公益社団法人 土木学会中国支部

■後 援：一般社団法人 中国建設弘済会

■取材申込：取材に来られる方は、前日までに、下記の問い合わせ先へ連絡して下さい。
（視聴予約用 URL もご案内いたします）

来場の際は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の上、検温及びアルコール消毒にご協力をお願いします。

○中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。

○問い合わせ先

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：082-506-1814

藤井 友行（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

【シンポジウムの内容に関すること】

国土交通省中国地方整備局 TEL：082-221-9231

企画部事業調整官 藤原 浩 幸（内線3116）

広域計画課課長補佐 佐々田 敬 久（内線3212）

【広報担当窓口】 広報広聴対策官 加藤 浩 士（内線2117）

企画部環境調整官 後藤 寿 久（内線3114）

未来につなげる インフラメンテナンス

日時 令和3年2月26日(金)
13:30~16:30

Web聴講(オンライン)

聴講
無料

プログラム

※講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合があります。
予めご了承ください。

■開会挨拶 (13:30~13:40)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 フォーラムリーダー 藤井 堅氏
国土交通省 中国地方整備局 副局長 内田 純夫氏

■基調講演 (13:40~14:30)

「橋梁点検・調査・維持管理の高度化・効率化に向けた技術開発」
株式会社長大 有井 賢次氏

■パネルディスカッション (14:45~16:25)

「地方自治体におけるこれからのインフラメンテナンス」

〔老朽化するインフラが急増する中、限られた予算で対応するためにはインフラメンテナンスを効率的、効果的に行う必要があります。施設管理者である地方自治体が抱える課題(厳しい財政・人材の不足・技術不足)の解決に寄与し、効率的・効果的なメンテナンスのあり方について考えます。〕

■閉会挨拶 (16:25~16:30)

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 メンター 宮本 文穂氏

インフラマネジメントシンポジウム2020

パネルディスカッション

テーマ: 地方自治体におけるこれからのインフラメンテナンス

■ コーディネーター

- ・ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」フォーラムリーダー

■ パネリスト

- ・ 鳥取大学大学院 工学研究科 教授(社会基盤工学専攻) 黒田 保 氏
- ・ 中国地方整備局 企画部長 星隈 順一 氏
- ・ 呉市役所 土木部長 北岡 宏紹 氏
- ・ 富士通株式会社 社会システム事業本部 第一システム事業部
シニアエキスパート 菊地 英幸 氏
- ・ 山陽ロード工業株式会社 代表取締役社長 秋田 英次 氏

広島大学名誉教授 藤井 堅 氏

申込方法

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページから、**参加申込書**に必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。

定員
100名

- 申込期間: 令和3年2月1日(火)～2月19日(金)
- 定員に達し次第締め切らせていただきます。視聴予定者には、後日視聴URLをメール等でお知らせします。

文字をクリックすると
参加申込書が開きます

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

検索

留意事項

- Web受講に際し、以下の事項に同意のうえお申込ください。

1. 視聴URLはセミナーに参加する方のみ利用可能とし、再配布を禁止します。
2. 受講者は、動画を録画・キャプチャーすることは一切できません。もし、発見した場合、事務局は削除を要求できることとします。また、SNSなどへのアップも禁止します。
3. セミナーの内容や受講者の個人情報などはセミナー内のみとし、口外しないでください。
4. システムトラブルなどにより、画像・音声に乱れが生じた場合も対応出来かねますのでご自身でご調整ください。
5. 配信中、異常と思われる接続を発見した場合、予告なく切断することがあります。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に伴いやむをえずシンポジウム開催を中止する場合があります。中止決定の場合には、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページ上でご案内しますので、あらかじめご了承ください。
7. CPDプログラム等の取得には制約があります。申込みの際にご確認ください。



公益社団法人 土木学会中国支部土木学会継続教育(CPD)プログラム

➢ 認定番号: JSCE20-0909(27単位)

CPDSプログラムにも認定されています。ご希望の方は事前にお伝えください。

➢ 登録番号: 611136(3ユニット)

■ お問い合わせ: インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp / Tel : 082-506-1814

ホームページ : <http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html>

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」とは

老朽化するインフラが急増するなか、限られた予算で対応するためにはインフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保する必要があります。

「インフラメンテナンス国民会議」はインフラという地域の資産を維持するために行政だけではなく、産官学民の連携による持続可能な維持管理や予防保全の取組が重要であるとの観点から、確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的として設立されました。

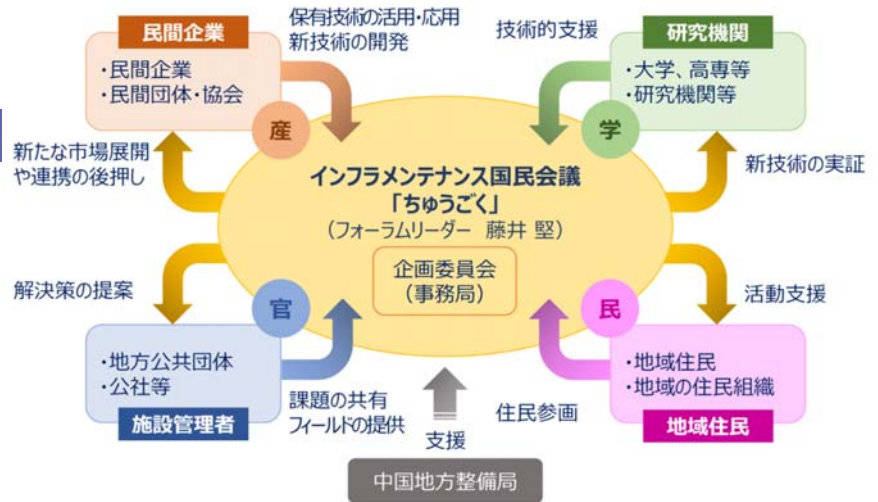
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は「インフラメンテナンス国民会議」の地方フォーラムとして平成30年3月に設立しました。

インフラメンテナンス国民会議の目的

- ① 革新的技術の発掘と社会実装
- ② 企業等の連携の促進
- ③ 地方自治体への支援
- ④ インフラメンテナンスの理念の普及
- ⑤ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議「ちゅうごく」(中国フォーラム)の活動

- ① 地方自治体の支援（企業等との連携）
 - ✓ 施設管理者の持つ課題の共有と解決策の提案
 - ✓ メンテナンスの効率化・高度化に資する技術の紹介
- ② 民間企業と連携した中国地方発の技術開発
 - ✓ 施設管理者のニーズを踏まえた技術開発
 - ✓ 地元のメンテナンス産業の育成、拡大
- ③ 地域における市民等の連携の推進
 - ✓ 地域住民のメンテナンスへの理解促進
 - ✓ インフラメンテナンスにおける住民参画の事例収集



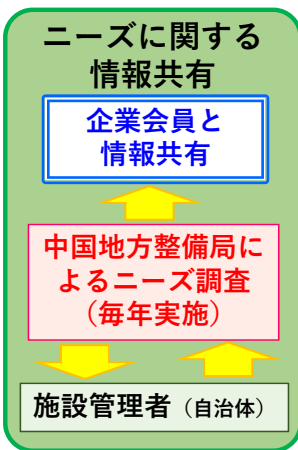
インフラメンテナンスに関する課題解決

施設管理者が抱えるインフラメンテナンスのニーズに関する情報を得ることができます。

メリット 1 施設管理者のニーズを幅広く得ることができます

メリット 2 新技術、商品などを施設管理者等に紹介する場を提供します。

メリット 3 相談が必要になったときは、専門家を紹介し、整備局もサポートします。(専門家も会員)



専門家の先生方

フォーラムリーダー
藤井 堅
(広島大学名誉教授)

メンター
宮本文穂
(山口大学名誉教授)

メンター
赤木恭吾
(岡山大学大学院 特任教授)